

舟参宮の再興

三重県伊勢市

いにしえの川みなとに賑わいをつくる

かみやしろ

特定非営利活動法人 神社みなとまち再生グループ/伊勢市

神社港は、おかげ参りと呼ばれ伊勢神宮への参拝が大流行した江戸時代に、尾張、三河、遠州から海を渡って伊勢神宮を目指す舟参宮の最寄港として多くの人々で賑わいました。しかし、明治時代以降、旅客・貨物輸送ともに海上交通の舟から陸上交通の鉄道・自動車へと変遷し、港内へ砂泥が堆積し大型船の入港が困難となったこと等も相まって衰退の一途を辿り、現在に至っています。

神社港地区を含む周辺港湾区域について、地域住民を主体とする市民や訪れる人々がふれあう新たな広域交流拠点として再生すべく、平成10年に宇治山田港湾整備促進協議会が設置され、地元住民と行政で議論を重ねた結果、水上交通ネットワークの拠点ターミナルとして神社港に「海の駅」が整備されることとなりました。駅舎は寄付を受けた民家を改修することにより、木造船「みずき」の利用者待合所、寄港者の滞在スペース、集会室等に活用し、地域住民や訪れる人々のふれあいの場になっています。

特定非営利活動法人神社みなとまち再生グループは、歴史文化あふれるみなとまち神社港

の再生を図ることを目的に、地域に根ざした人々が主体となり平成14年に設立されました。

みなとまちづくり活動としては、木造船「みずき」運航によるかつての舟参宮の再現や伝統行事、愛知県篠島との「おんべ鯛」を通じた地域間交流など海洋レクリエーションの振興に努めています。また、「みなとまち館」を開設し、伊勢の舟運文化及びみなとまちの歴史や街並みの資料収集や展示、紹介などを行っています。

地域づくり活動としては、高齢者や放課後児童対策として、「老人憩いの家 かたふりの館」や「はまっこ学童クラブ」の開設をしたり、地域の学童に対して、木造船・シーカヤックによる船遊び体験などを開催しています。

また、約10年前から毎月第一日曜に、地産地消市場「辰の市」を開催したり、東日本大震災以降は津波対策勉強会を開催するなど、地域を巻き込んだ活動に取り組んでいます。

これらの取り組みの結果、世代を超えた多くの人々が活動に参加することで地域のふれあいの場となり、コミュニティの再生に大きく貢献しています。



海の駅神社



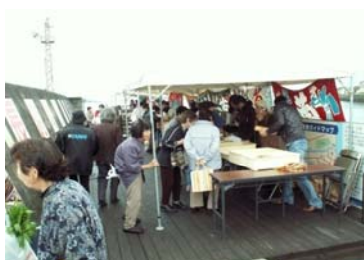
神社港



木造船「みずき」運航



おんべ鯛行事



地産地消市場「辰の市」



津波講習会

◆所在地

三重県伊勢市神社港地内

◆活動内容

木造船みずきの運行（4～11月各月2回）、おんべ鯛行事（年1回）、辰の市（月1回）、カヌー大会（年1回）、川ゴミパトロール（月1回）のほか、老人憩いの家、はまっこ学童クラブ、津波講習会などを実施

◆活動主体及び連絡先

特定非営利活動法人神社みなとまち再生グループ（0596-36-3755）

※理事長：中村 清

◆対象となる社会資本

伊勢市神社海の駅

※管理者：伊勢市（代表：0596-21-5582）

